

1	所 属	感染制御・臨床検査医学
2	氏 名	菱沼 昭
3	タイトル	TSH値・試薬間差解消へ方針
4	概 要	日本臨床検査医学会は1月30日、試薬間差が大きいことが課題であった甲状腺刺激ホルモン(TSH)値のハーモナイゼーションへ向けた方針を発表した。国際臨床化学連合(IFCC)が提唱する補正方法を日本人成人の測定値に採用し、現在の試薬間差を解消するとしている。これに伴い臨床検査薬企業に対し、2021年3月末までに、IFCCの補正方法を各キットに適用するよう要請した。ハーモナイゼーションを主導した日本臨床検査医学会標準化委員会の委員長として、菱沼昭が取材を受けた。 IFCCの補正方法を日本人成人の測定値に適用できるかの検討では、獨協医科大学病院と日高病院で募った成人ボランティアの検体を使って測定値を集計・検討した。
5	掲載日・放送日(放送時間)	2020年2月11日 発行
6	媒体名等	MTJ(THE MEDICAL&TEST JOURNAL)